

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (ワインディング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1学年	総時数	250時間		
担 当 者		専任教員A、B、C、D、H (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	WGウィッグカット 基本姿勢、コームの持ち方、シェーピング、 巻き込み、毛束の広げ、目線、収まり、ゴムかけ、奥 行き		正しい姿勢が理解されている 上巻き、下巻きができる		○
	5	センター、下巻き、上巻き		ブロッキング5分・3分で出来る センター20分で出来る		○
	6	センター、バックサイド 前期中間試験実技		センター15分で出来る バックサイド、サイドの収まりが出来る		○
	7	センター、バックサイド、サイド、 総復習、手直しのやり方		全頭23分で巻ける 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
	8	センター、バックサイド、サイド、 総復習、手直しのやり方		全頭23分で巻ける 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
	9	タイム調整 前期末試験		全頭20分で巻ける (バックサイド・サイド) 全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
後 期	10	国試課題 ブロッキング、ロット配列		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
	11	国試課題 ブロッキング、ロット配列		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
	12	後期中間試験 ブロッキング、ロット配列、 フロント、バックサイド、サイド、全体の収まり		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている		○
	1	国試課題 時間内に収める		全体のバランス、シェープ、ステムの角度方向 ゴムの掛け方が理解されている 全頭28分で巻ける		○
	2	進級試験 国試課題25分		全頭25分で巻ける		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (オリジナル・オールウェーブ)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集			
課 目 の 目 標		オリジナル・オールウェーブ技術の習得 美容師国家試験実技第2課題					
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科					
履 修 学 年		1学年	総時数	250時間			
担 当 者		専任教員A、B、C、D、H (実務経験4年以上の者)					
年間の授業計画							
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法		
					講義	実習	
前 期	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9	ローションの作り方、 コームの持ち方、 45度のシェーブ、正しい姿勢、 リッジの作り方、 フィンガーウェーブの作り方			正しい姿勢で作業が出来る コームの使い方を正確に使える フィンガーウェーブを正確に作る		○
後 期	10	オールウェーブ7段構成 スカルプチュアカール			フィンガーウェーブ7段を正確に作る スカルプチュアカールが正確に出来る		○
	11	リフトカール左右巻き メイボールカール クロッキノールカール			リフトカールが出来る メイボールカールが出来る クロッキノールカールが出来る		○
	12	全体の構成 全体のつながり、フィンガーウェーブ、 ピンカール、ピニング			全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、 ピンカール、ピニングが出来る		○
	1	全体の構成 全体のつながり、フィンガーウェーブ、 ピンカール、ピニング			全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、 ピンカール、ピニングが出来る		○
	2	進級試験対策			全体の構成が理解されている 全体のつながり、フィンガーウェーブ、 ピンカール、ピニングが出来る		○
	3						
備 考							
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)					

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (シャンプー・サイド・リア)	使用教科書			
課 目 の 目 標		美容師に必要な礼儀・マナー・挨拶の修得と技術のマスター				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1 学年	総時数	25 時間		
担 当 者		専任教員A、B、C、D、H (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	挨拶(声だし)、準備物の確認 お湯で流す、タオルターバン		準備が出来る ターバンが出来る		○
	5	お湯で流す、1シャンプー工程		1シャンプー工程を理解した		○
	6	2シャンプー工程、マッサージ、		2シャンプー工程を理解した		○
	7	声だし～シャンプー～マッサージ		2シャンプー工程が出来る		○
	8					
	9					
後 期	10					
	11	リアシャンプー シャンプー工程、シャンプーボールの セッティング		リアシャンプーの準備が出来る シャンプー工程を理解した		○
	12	リアシャンプー シャンプー工程、シャンプーボールの セッティング、 2シャンプー～マッサージ		リアシャンプーの準備が出来る シャンプー工程が出来る		○
	1					
	2					
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (ワインディング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	174時間		
担 当 者		専任教員E、F、G、I (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5	ブロッキング センター スライス・シェーブ・巻き込み・毛束の広げ・目線 収まり・ゴム掛け・奥行き合わせ		ブロッキングのセンターが真っすぐにとれる。 スライス線、シェーブが正確にとれる。		○
	6	センター・バックサイド・サイド 全体の復習・苦手箇所の徹底トレーニング Cラインの収まり		センターのスライス幅が正確にとれて収まる。 バックサイドがセンターに対して正確に 収まり、両バックサイドがシンメトリーで ある事。		○
	7	全体のバランス 総復習 手直しトレーニング 苦手箇所の徹底トレーニング タイム調節		センターが6分で巻き終わる。 バックサイドが7分で巻き終わる。		○
	8	基本確認 総復習 タイム調節 手直しタイム 1分		全頭20分で巻き終わる。		○
	9	試験に向けて総復習		前期末試験実技 令和3年9月24日(金) 全頭20分で巻き終わる。		○
後 期	10	全体のバランス・スライス・シェーブ・巻き収め チェック		センター、フロント、バックサイドを各 ブロックごとにタイム内で完成度をあげて いく。		○
	11	全体のバランス・スライス・シェーブ・巻き収め チェック 国家試験の採点基準説明		国家試験採点基準をふまえて、ブロッキング、 シェーブ、姿勢、巻き収まりが正確に行える。		○
	12	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		国家試験に向け、全頭18分で巻き、 手直しの時間を2分残しタイム内で巻き 終わる事。		○
	1	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和4年1月18日(火) 全頭20分で国家試験合格基準を満たし巻く。		○
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)					

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (オールウェーブセッティング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		オールウェーブセッティング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	174時間		
担 当 者		専任教員E、F、G、I (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5	1 段目～7 段目 フィンガーウェーブ、リッジの確認、スカルプチャ カール・リフトカール・メイポールカール・クロッ キノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		カールスペースが正確にとれている。 フィンガーウェーブ、リッジを正確に作る。 カールの収まりが正確である。		○
	6	1 段目～7 段目 スカルプチャカール・リフトカール・メイポール カール・クロッキノールカールの作り方、収め方、 位置、ピニング		カールの大きさ、バランス、毛先の処理が 正確に作れる。		○
	7	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランス		フィンガーウェーブ、リッジが正確に作れる。 ピンカールのバランスが正確である。		○
	8	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランスタイム調整		時間内に仕上がる 全頭25分チェック		○
	9	試験に向けて総復習		前期末試験実技 令和3年9月24日(金) 全頭20分で巻き終わる。		○
後 期	10	フィンガーウェーブ、リッジの確認 スカルプチャカール・リフトカール・メイポール カール・クロッキノールカールの作り方、収め方、 位置、ピニング		タイム25分以内でカール、フィンガー ウェーブ、リッジが正確に作れる。		○
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 フロント2段目リッジの奥行、コームの使い方、 ピニング		国家試験採点基準をふまえて、バランス、 ピンカール、リッジが正確に作る事が出来る。		○
	12	メイポールカール、クロッキノールカールの確認 全体のバランス		国家試験に向け、全頭23分で作り、手直しの 時間を2分残りタイム内で作り終わる事。		○
	1	全頭23分、手直し2分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和4年1月18日(火) 全頭25分で国家試験合格基準を満たし作る。		○
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (カット)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		レイヤースタイル技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2学年	総時数	96時間		
担 当 者		専任教員E、F、G、I (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
後 期	10	美容師国家試験実技第2課題 レイヤーカット・ブロッキング・ガイドのカット・ 第1ブロック・第2ブロック・第3ブロック・ フロント・サイドのカット		作業手順が理解できる ブロッキングが出来る ガイドをカットできる		○
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 全頭を通してカット、チェックカット		正確なストランドが理解できる ガイドを正確につなげることが出来る チェックカットが正確に出来る		○
	12	カット手順、姿勢 フロント・もみあげ・トップ・バックポイント ネープの長さを正確にカットする レイヤーのつながりを正確にカットする		フロント・もみあげ・トップ・バックポイント ネープの長さを正確にカットできる ヘムラインが正確につながっている レイヤーのつながりが正確に出来る		○
	1	20分タイムトレーニング		卒業試験 令和4年1月18日(火) 国家試験合格基準を満たし20分でカット できる		○
	2			美容師国家試験・実技 令和4年2月2日(水)～3日(木)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (シャンプー)	使用教科書			
課 目 の 目 標		接客マナーの習得とシャンプー技術の習得				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	2 1 時間		
担 当 者		専任教員E、F、G、I (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5	リア シャンプー プレーンリンス 泡立て マニピュレーション リンス タオルドライ		シャンプー工程を理解する		○
	6	リア シャンプー 両手使い、お湯の通り確認、姿勢		カラーシャンプーが出来る 十分な洗い、すすぎが出来る		○
	7					
	8	リア シャンプー すすぎ残しがない、顔にかからない、力加減 サイドシャンプー 技術の確認		指抜きをしてマッサージ効果のある シャンプーが出来、全頭に指が行き渡る		○
	9	リア シャンプーを使用しヘッドマッサージ、ヘッド スパヘアケア		力加減の強弱をつけマッサージを行える 毛先を中心に均等にとりメント塗布が出来る		○
後 期	10	気持ちの良いシャンプー技術をマスターする クラクゼーション		シャンプー・ヘアケア・ヘッドマッサージの 流れに沿って行う事が出来、リラクゼーション 効果のあるマッサージが出来る		○
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 ビューティーエステ科

課 目 名		フェイシャルエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編 I		
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの基礎技術を習得する JEOエステティシャンセンター試験合格				
履 修 学 科		ビューティーエステ科				
履 修 学 年		1 学年	総時間数	201 時間		
担 当 者		専任教員 K、M 兼任教員 J、L (実務経験2年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	パッドセッティング、ワゴンセッティング、スチームタオル、コットンなどの事前準備方法、ターバンの巻き方	12	衛生を保った事前準備方法を習得する		○
	5	クレンジング手法、ティープクレンジング技術(ゴマージュ・酵素・粒子・吸引・エレクトロクレンジング・プラシクレンジング)技術を学ぶ	27	機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○
	6	エステティック協会マッサージ技術 ドール練習 →相モデル	21	マッサージ技術の習得 身体、肩、手のスキントッチを習得する		○
	7	試験練習 機器(イオン導入・パター)技術・理論	12	理論の理解、機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○
	8	クレンジング～ティープクレンジング～機器～マッサージ 復習	6	全ての理論、注意事項を把握した上での技術習得を目指す		○
	9	試験練習・試験	9	試験練習・試験		○
後 期	10	パック塗布・除去方法 機器(高周波)操作方法 コンサルテーションの記入方法を学ぶ	15	正確なコンサルテーションの情報、肌診断を目指す		○
	11	トータルトリートメントメニューの練習	24	正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるように目指す		○
	12	試験練習・校内コンテスト練習	30	試験練習・校内コンテスト練習		○
	1	コンサルテーションの復習、トータルトリートメントメニューの練習	9	正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるように目指す		○
	2	試験練習・進級試験	24	試験練習・進級試験		○
	3	滝川機器の使用方法(イオン導入・パター) 新マッサージ技術を学ぶ	12	機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし新マッサージ技術を習得する		○
備 考		予定時間数	201			
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

令和3年度 ビューティーエステ科

課 目 名		フェイシャルエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編 I		
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会 上級試験合格				
履 修 学 科		ビューティーエステ科				
履 修 学 年		2 学年	総時間数	111 時間		
担 当 者		専任教員 K、M 兼任教員 J、L (実務経験 2 年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ブラシクレンジング技術復習	3	機器の安全な操作方法の確認		○
	5	トータルフェイシャルトリートメント技術復習	27	上級試験にむけての技術習得		○
	6	トータルフェイシャルトリートメント技術復習 苦手分野技術練習 試験練習・試験	39	フェイシャルトータル技術において苦手分野の克服		○
	7	上級試験にむけてのトータル技術練習 上級・修了試験	27	フェイシャルトータル技術向上を図る 上級・修了試験		○
	8					
	9	滝川マッサージ技術、高周波間接法復習	9	マッサージ技術の向上、機器の理論、安全な操作方法の習得確認		○
後 期	10	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術メニュー練習	6	お客様に提供できる技術向上を図る		○
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					
備 考		予定時間数	111			
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A~Dの4段階評価)				

令和3年度 ビューティーエステ科

課 目 名	ボディエステティック		使用教科書	新エステティック学技術編 I		
課 目 の 目 標	ボディエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格					
履 修 学 科	ビューティーエステ科					
履 修 学 年	1 学年		総時間数	1 6 5 時間		
担 当 者	専任教員K、M 兼任教員J、L、N (実務経験2年以上の者)					
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	実習質の使い方、体重移動、前操作～下肢ウラ マッサージ技術	12	誘導から下肢うらマッサージ技術の習得		○
	5	下肢うらマッサージ技術復習 腹部マッサージ	12	誘導～下肢うらマッサージ技術の習得が できているか確認		○
	6	G5機器 操作方法 下肢うらマッサージ技術練 習	24	G 5 機器の安全な操作方法、禁忌、注意事 項の確認タイム計測 試験練習		○
	7	サクシオン機器 操作方法	12	サクシオン機器の安全な操作方法、禁忌、 注意事項の確認		○
	8	サクシオン機器+下肢うらマッサージ 試験練習	6	タイム計測		○
	9	低周波機器 操作方法 (腹部・大腿部・腰背 部・上腕)	15	低周波機器の安全な操作方法、禁忌、注意 事項の確認		○
後 期	10	低周波機器試験練習	15	タイム計測 試験練習		○
	11	コンサルテーション～採寸 機器復習 保護者参観日メニュー作成	27	肌状態、採寸の正確な技術方法の習得 コミュニケーション技術習得		○
	12	参観日練習 コンサレーション～機器選択～マッサー ジ技術復習	12	コンサルテーションに合わせた機器選択が できるようにする		○
	1	コンサルテーション～機器選択～マッサー ジ技術復習	6	コンサルテーションに合わせた機器選択が できるようにする		○
	2	コンサルテーション～機器選択～マッサー ジ技術試験練習	18	試験練習 タイム計測		○
	3	進級試験	6	進級試験		○
備 考	予定時間数		165			
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)					

令和3年度 ビューティーエステ科

課 目 名		ボディエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編 I		
課 目 の 目 標		ボディエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会 上級試験合格				
履 修 学 科		ビューティーエステ科				
履 修 学 年		2 学年	総時間数	165 時間		
担 当 者		専任教員 K、M 兼任教員 J、L、N (実務経験 2 年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ボディ上級試験に向けての技術練習・上級試験誘導～コンサル～機器～マッサージ～拭取り～誘導	39	各項目がタイム内収める 機器の安全な操作方法 上級試験		○
	5	ボディスクラブ、リンパマッサージ、背面マッサージのアレンジ練習	12	お客様の悩みを想定した、マッサージ技術を習得できているか		○
	6	背面アレンジマッサージの復習 姿勢やポジショニングの確認	15	効果的、効率的な姿勢、ポジショニング		○
	7	リンパマッサージ復習、技術トレーニング	9	リンパの流れの把握、スキンタッチ		○
	8	ボディパック技術練習	3	手際良く、効果的な適量での塗布ができて いるか		○
	9	ボディ機器～ボディパックまでの総合練習	12	タイム内に収める		○
後 期	10	ボディトータルトリートメント	21	モデルの悩みにあったお手入れをし結果を だしていく。		○
	11	ボディトータルトリートメント	15	モデルの悩みにあったお手入れをし結果を だしていく。		○
	12	ボディトータルトリートメント	30	学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習		○
	1	ボディトータルトリートメント	6	修了・卒業試験		○
	2	ボディトータルトリートメント	3	学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習		○
	3					
備 考		予定時間数	165			
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				